

平成28年の梅雨入りと梅雨明け(速報値)

梅雨期は大雨による災害の発生しやすい時期です。また、梅雨明け後の盛夏期に必要な農業用の水等を蓄える重要な時期でもあります。一方、梅雨期は曇りや雨の日が多くなって、日々の生活等にも様々な影響を与えることから、社会的にも関心の高い事柄であり、気象庁では、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに、梅雨の入り明けの速報を「梅雨の時期に関する気象情報」として発表しています。(気象情報のページに各地方別の情報として掲載しています。地方に含まれる都府県は、[地域名を解説するページ](#)をご覧ください。)

このページは梅雨入りと梅雨明けの情報を発表したときに更新しています。ただし、情報発表が休日の場合は休日明けの平日に更新となります。

後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、この情報で発表した期日が変更となる場合があります。(確定値は[昭和26年\(1951年\)以降の梅雨入りと梅雨明け\(確定値\)](#)を参照)

■ 平成28年の梅雨入り

更新日: 平成28年7月19日					
地方	平成28年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	5月16日ごろ	7日遅い	4日早い	5月 9日ごろ	5月20日ごろ
奄美	5月16日ごろ	5日遅い	3日早い	5月11日ごろ	5月19日ごろ
九州南部	6月4日ごろ	4日遅い	2日遅い	5月31日ごろ	6月 2日ごろ
九州北部	6月4日ごろ	1日早い	2日遅い	6月 5日ごろ	6月 2日ごろ
四国	6月4日ごろ	1日早い	2日遅い	6月 5日ごろ	6月 2日ごろ
中国	6月4日ごろ	3日早い	2日遅い	6月 7日ごろ	6月 2日ごろ
近畿	6月4日ごろ	3日早い	1日遅い	6月 7日ごろ	6月 3日ごろ
東海	6月4日ごろ	4日早い	1日遅い	6月 8日ごろ	6月 3日ごろ
関東甲信	6月5日ごろ	3日早い	2日遅い	6月 8日ごろ	6月 3日ごろ
北陸	6月13日ごろ	1日遅い	6日早い	6月12日ごろ	6月19日ごろ
東北南部	6月13日ごろ	1日遅い	13日早い	6月12日ごろ	6月26日ごろ
東北北部	6月13日ごろ	1日早い	13日早い	6月14日ごろ	6月26日ごろ

■ 平成28年の梅雨明け

地方	平成28年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	6月16日ごろ	7日早い	8日遅い	6月23日ごろ	6月 8日ごろ
奄美	6月18日ごろ	11日早い	18日早い	6月29日ごろ	7月 6日ごろ
九州南部	7月18日ごろ	4日遅い	4日遅い	7月14日ごろ	7月14日ごろ
九州北部	7月18日ごろ	1日早い	11日早い	7月19日ごろ	7月29日ごろ
四国	7月18日ごろ	同じ	6日早い	7月18日ごろ	7月24日ごろ
中国	7月18日ごろ	3日早い	6日早い	7月21日ごろ	7月24日ごろ
近畿	7月18日ごろ	3日早い	6日早い	7月21日ごろ	7月24日ごろ
東海	7月18日ごろ	3日早い	6日早い	7月21日ごろ	7月24日ごろ
関東甲信				7月21日ごろ	7月10日ごろ
北陸				7月24日ごろ	7月25日ごろ
東北南部				7月25日ごろ	7月26日ごろ
東北北部				7月28日ごろ	7月29日ごろ

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。

・「平年」は、平成22年(2010年)までの過去30年の平均(入り・明けを特定しなかった年は除外)の日付です。

[このページのトップへ](#)